

科目名 Subject	メイクアップ研究 Make-up Studies			教員名	ティミー 西村	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	4単位	
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	60時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力			表現力、すなわち芸術における実践力		
	◎			△		
科目の概要	高度な美容技術、デザイン力、表現力、2つの実践力を備えた「美容芸術」の体現者たる美容家を輩出する。また、美容の現場で必要とされる技術、知識の習得。 毎回授業での作品制作を行うことで、芸術家としての感性を養う。授業はオムニバス形式の授業展開で、複数講師による、専門的な知識と技術を習得。					
授業方法	複数講師によるオムニバス形式の授業。					
授業の目標	メイクアップアーティストとして、また芸術家として求められる表現力の習得を目指し、全ての人種、ジェンダーに似合うメイクを提案できる知識、技術を習得し表現できる。ナチュラルメイクのみならず、和装メイク、ファッションメイク、特殊メイクなどバラエティーに富んだ表現ができる。プロフェッショナルとしての視点を深く学び、現場での即戦力となる技術をアウトプットできる。					
時間外学習 (予習・復習)	授業で作成した作品のレポート課題作成による復習。各回の授業でのポイント、感想、デッサンをGoogle Class Roomへ提出。レポート課題作成に必要な時間は30時間である。					
教科書・教材	教科書		教員作成資料			
	教材		タオル、ティッシュ、コットン、メイク教材一式。			
	使用設備・備品		デジタルカメラ、LEDライト、バックスクリーン、三脚、マイク等			
	参考文献		なし			
評価方法	作品製作50% 平常点50%					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	授業作品制作を行います。やむを得ず欠席した場合は各自作品制作を行い、提出してもらいます。					
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	表情分析（喜び）を学ぶ	表情分析（喜び）を学ぶことで、メイクアップで相手の表情を変える事ができる。	講義内容を自宅にて復習。
第 2 回	作品制作 表情分析（喜び）を表現する	作品制作を通して、無表情のモデルをメイクアップで笑顔の表情に変える事ができる。	復習した内容を自宅にてデッサン。
第 3 回	表情分析（怒り）を学ぶ	表情分析（怒り）を学ぶことで、メイクアップで相手の表情を変える事ができる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第 4 回	作品制作 表情分析（怒り）を表現する	作品制作を通して、無表情のモデルをメイクアップで怒りの表情に変える事ができる。	復習した内容を自宅にてデッサン。
第 5 回	表情分析（悲しみ）を学ぶ	表情分析（悲しみ）を学ぶことで、メイクアップで相手の表情を変える事ができる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第 6 回	作品制作 表情分析（悲しみ）を表現する	作品制作を通して、無表情のモデルをメイクアップで悲しみの表情に変える事ができる。	復習した内容を自宅にてデッサン。
第 7 回	和装メイク（白塗り）を学ぶ	和装メイク（白塗り）を学ぶことで、日本の伝統化粧について深く理解することが出来る。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第 8 回	作品制作（和装白塗りメイク）を表現する	和装メイクに必要な道具を使用することで、洋装メイクとの違いを表現できる。	復習した内容を自宅にてデッサン。
第 9 回	特殊メイク（火傷、ケロイド）を学ぶ	熱傷深度Ⅲの火傷制作に必要な道具を学び理解する事ができる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第 10 回	作品制作（特殊メイク）火傷、ケロイドを表現する	熱傷深度Ⅲ程度の火傷、ケロイドをメイクアップで表現する事ができる	復習した内容を自宅にてデッサン。
第 11 回	舞台メイク（オペラ）を学ぶ	オペラの舞台に必要なメイク道具、現場での動きを学ぶ事ができる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第 12 回	作品制作 舞台メイク（オペラ）を表現する	オペラストージメイクアップが表現できる。	復習した内容を自宅にてデッサン。
第 13 回	エアブラシテクニックを習得する	エアブラシの使用方法、クリーニング方法を学び機器を使いこなせる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第 14 回	コンセプト、テンプレートを作成する	コンセプト、テンプレート作成で作品制作に反映することが出来る	作品制作に向け自宅にて最終調整を行う。
第 15 回	作品制作（エアブラシメイク）を行う	エアブラシを使った高度なメイクアップを表現する事ができる。	復習した内容を自宅にてデッサン。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	様々な化粧品を使ったビューティーメイクアップを学ぶ。	市場に流通している化粧品を多数使用することで、化粧品の違いを学ぶ事ができる。	自宅や百貨店などで化粧品ブランドの事前リサーチを行う。
第17回	作品制作（ビューティーメイクアップ）を学ぶ。	様々な化粧品を使い、モデルのニーズに合うメイクアップを提供する事ができる。	自宅にて、作品制作に使用した化粧品ブランド史を復習、作品のデッサン。
第18回	1970年代のメイクアップを学ぶ。	1970年代の時代背景、メイクアップを学ぶ事が出来る。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第19回	1970年代のメイクアップ作品を制作する。	1970年代トレンドメイクアップが表現できる。	復習した内容を自宅にてデッサン。
第20回	1980年代のメイクアップを学ぶ。	1980年代の時代背景、メイクアップを学ぶ事ができる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第21回	1980年代のメイクアップ作品を制作する。	1980年代トレンドメイクアップが表現できる。	復習した内容を自宅にてデッサン。
第22回	2021 S/S ファッションショーのメイクアップを学ぶ。	パリ、ミラノ、ロンドン、NY、東京の最新春夏メイクアップを理解し、説明ができる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第23回	2021 S/S メイクアップの作品を制作する。	2021s /sファッションメイクが表現できる。	復習した内容を自宅にてデッサン。
第24回	2021 A/W ファッションショーのメイクアップを学ぶ。	パリ、ミラノ、NY、東京の最新秋冬メイクアップを理解し、説明ができる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第25回	2021 A/W メイクアップの作品を制作する。	2021A/Wファッションメイクが表現できる。	復習した内容を自宅にてデッサン。
第26回	スチール撮影を学ぶ。	スチール撮影に必要なメイク道具、機材を知り、動画撮影との違いを理解し、説明ができる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第27回	スチール撮影用のメイクアップ作品を制作する。	学内スタジオにてスチール撮影の手法を用いた作品を表現する。	復習した内容を自宅にてデッサン。
第28回	スタジオでの動画撮影を学ぶ。	動画撮影に必要なメイク道具、機材を知り、スチール撮影との違いを理解し、説明ができる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第29回	ロケーションでの動画編集を学ぶ。	野外での動画撮影に必要なメイク道具をしり、スタジオ撮影との違いを理解し、説明ができる。	事前に配布した資料を自宅にて予習。授業後、講義内容を自宅にて復習。
第30回	作品発表を行う。	自身の制作による作品の趣旨を発表することで、自身の世界観を表現できる。	自宅にて撮影した作品のポートフォリオ作成、保存。